

岩手競馬の発売実績等について

令和元年 5月28日
財 政 部

1 令和元年度第1回盛岡競馬まで（通算第4回 4/6～5/21 22日間）の発売成績等

(1) 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円，%)

区 分	岩手競馬発売額				広域受託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額 (a)	1,212	716	3,791	5,719	840
実績額 (b)	1,204	715	4,146	6,065	818
差額 (b-a)	△ 8	△ 1	355	346	△ 22
達成率	99.3	99.8	109.4	106.0	97.4

(2) 発売額・入場者数の前年度比較

(単位：百万円，%)

区 分	発 売 額			
	令和元年度	平成30年度	前年度比	
自 場 発 売	水沢競馬場	389	383	101.6
	盛岡競馬場	221	315	70.1
	宮古場外	35	45	78.2
	種市場外	72	78	92.7
	安代場外	37	41	91.0
	大通場外	28	35	80.4
	釜石場外	68	69	97.4
	県内施設・計 (a)	850	966	88.0
	横手場外	83	102	81.6
	山本場外	38	43	86.8
自 場 発 売	三本木場外	153	179	85.5
	十和田場外	41	51	79.2
	つがる場外	8	11	78.6
	東京場外	14	20	71.3
	秋田場外	17	20	83.7
	県外施設・計 (b)	354	426	83.1
	計 (a+b)	1,204	1,392	86.5
	(1日平均)	(55)	(58)	(94.4)
	広域委託発売	715	809	88.4
	(1日平均)	(33)	(34)	(96.4)
インターネット発売	4,146	3,926	105.6	
(1日平均)	(188)	(164)	(115.2)	
合 計	6,065	6,127	99.0	
(1日平均)	(276)	(255)	(108.0)	
開催本場入場者数	51,208人	56,574人	90.5	
(1日平均)	(2,328人)	(2,357人)	(98.8)	

注1 令和元年度は22日間の実績，平成30年度は24日間の実績である。

1日平均の前年度比は，発売額合計で108.0%，開催本場入場者数で98.8%となるもの。

2 開催本場入場者数は，競馬開催場における入場者数である。

3 達成率及び前年度比は，円単位の金額で算出している。

4 端数調整等により，計数に異同が生ずる場合がある。

2 平成30年度収支見通し

○最終見込額の算定の考え方

(収入) 通常開催終了時の実績を基に見込額を計上

(支出) 年度所要額を精査し、必要な経費を計上

※ 禁止薬物陽性馬発生に伴う開催取止め14日間を含む。

(単位：百万円，%)

区 分	平成30年度			
	当初予算額 (ア)	2月補正予算 最終見込額 (イ)	増減額 (イ-ア)	増減割合 (イ/ア*100)
自場発売	7,195	6,493	△ 702	90.2
岩手県競馬組合 販売手 収入馬	4,088	4,050	△ 38	99.1
インターネット 発売	19,664	20,754	1,090	105.5
計 (A)	30,947	31,297	350	101.1
その他収入 (B)	1,667	1,818	151	109.1
収入合計 (C= A+B)	32,614	33,115	501	101.5
売上原価 (D)	26,256	26,731	475	101.8
総利益 (E= C-D)	6,358	6,384	26	100.4
販売費及び 管理費 (F)	6,321	6,336	15	100.2
営業損益 (G= E-F)	37	48	11	129.7
営業外費用 (支払利息) (H)	4	4	0	100.0
経常損益 (I= G-H)	33	44	11	133.3
特別 損益				
特別利益 (J)	0	0	0	0.0
特別損失 (K)	13	13	0	100.0
損益 (L= I+J-K)	20	31	11	155.0

注1 平成31年2月18日開催の第18回岩手県競馬組合議会定例会資料などにより作成した。

2 増減割合は、百万円単位の金額で算出している。

3 第19回岩手県競馬組合議会定例会は、令和元年5月29日招集である。

(参考) 新しい岩手県競馬組合改革計画における元金返済ルール

○ 最終利益（純利益）が、

- ・ 1億円以下の場合 → 全額を競馬組合の運営資金として内部留保する。
- ・ 1億円を超え5億円以下の場合 → 1億円を超える額の2分の1を構成団体に返済する。
- ・ 5億円を超える場合 → 前記に加え、5億円を超える額の全額を構成団体に返済する。

3 令和元年度収支見込額（期別）

（単位：百万円）

区 分	当初計画額	期別見込額				
		〔第1期〕	〔第2期〕	〔第3期〕	〔第4期〕	〔第5期〕
		4/1～6/4	6/5～8/12	8/13～10/21	10/22～1/7	1/8～3/31
自場発売	6,710	1,496	1,638	1,606	1,669	301
岩手県競馬組合 広域委託発売	4,406	916	1,229	1,088	1,004	169
インターネット 競馬発売	24,167	4,898	6,866	6,575	4,951	877
計 (A)	35,283	7,310	9,733	9,269	7,624	1,347
その他収入 (B)	1,677	206	252	287	274	658
収入合計 (C=A+B)	36,960	7,516	9,985	9,556	7,898	2,005
売上原価 (D)	30,208	6,278	8,325	7,949	6,482	1,174
総利益 (E=C-D)	6,752	1,238	1,660	1,607	1,416	831
販売費及び 管理費 (F)	6,718	1,232	1,653	1,605	1,412	816
営業損益 (G=E-F)	34	6	7	2	4	15
営業外費用 (支払利息) (H)	3					3
経常損益 (I=G-H)	31	6	7	2	4	12
特別利益 (J)						
特別損失 (K)	11					11
損益 (L=I+J-K)	20	6	7	2	4	1

注 令和元年5月7日開催の第1回岩手県競馬組合運営協議会資料により作成した。

〔参考〕 令和元年度 岩手県競馬組合の事業運営について（概要）

事業運営の方針

- 禁止薬物陽性馬の再発防止対策の強化による競馬の公正確保
- 収益構造の変化や馬資源の確保など、岩手競馬を取巻く環境の変化や課題に的確に対応
- 「新しい岩手県競馬組合改革計画」（平成18年11月策定）の収支均衡ルールの下、「岩手県競馬組合競馬事業収支改善計画」（平成23年8月策定）の着実な推進により、次の方針に沿って、安定した事業運営に向けての取組

1 競馬の公正確保

- (1) 二度と禁止薬物陽性馬の発生を許さない体制の強化
- (2) 公正な競馬を開催するため、職員、厩舎関係者が強い決意の下、一丸となって再発防止に取り組み、お客様の信頼回復

2 魅力ある競馬の開催

- (1) 土・日・月の開催を基本とする日程設定（火曜日開催の試行）
- (2) ダートグレード3競走を頂点とするわかりやすい競走体系やJRA騎手招待競走など魅力ある番組編成
- (3) 強い馬づくりや馬資源確保のため賞典費や厩務員手当等の増額

3 お客様サービスの充実

- (1) テレビ、ラジオ、スポーツ紙、ソーシャルネットワーク等多彩な広報ツールの特性を生かした情報の発信
- (2) ファンと騎手との交流やファン感謝イベントの実施によるお客様サービスの充実
- (3) 新規のお客様、家族連れのお客様向けイベントの実施など、ファンの裾野拡大の取組の展開
- (4) インターネット投票利用者に対応したファンサービスの展開
- (5) 地域や各種団体との連携による付加価値を高めることによるお客様の満足度向上

4 安定した経営基盤の確立

- (1) 来場者へのサービス向上やファンの裾野の拡大などにより、自場発売額減少に歯止めをかけ、スポーツ紙への馬柱掲載等によるインターネット発売額の拡大、複数場発売による広域委託発売額の確保等への取組
- (2) 低コスト経営への継続的取組や施設・設備の適切な修繕・整備等への対応
- (3) 黒字経営の継続による内部留保の蓄積に努め、構成団体融資返済ができるよう取組
- (4) 競馬事業の専門的な知識や技術、人的ネットワークを円滑に継承していくための人材の確保・育成